



◆アレルギー支援ネットワーク 通 信◆



NO. 96 2014.12.1

※等幅フォントでご覧いただくと最適に表示されます。

朝晩の冷え込みが大変厳しくなってきました。今年も残すところ1ヶ月ですね！
1年の締めくくりの12月は、お仕事もお家でも、年末ということで何かと忙しい月です。
忙しい日々を追われ疲れている時や、一仕事終えて気が緩んだ時は風邪をひきやすいので、
お子様だけでなく、ご自身のお体も労わってあげて下さいね。

それでは、今月のメルマガをお楽しみ下さい♪

===== も く じ =====

- 1、ご協力ありがとうございました♪
 ～『東海地域にアレルギーを持つ親子を支えるサロンを』寄付プロジェクトの御礼～
- 2、食物アレルギーひやりはっと事例集 2014
- 3、第9期アレルギー大学 全講座終了のお知らせ
- 4、第8回 千葉アレネット情報
- 5、アレルギーっ子の防災
 第14回 「アレルギー対応の防災訓練－1」防災士 中根輝彦
- 6、ぷちヴェール日進☆「地域合同総合防災訓練」に参加しました！
- 7、アレルギーが心配な保護者の方へ
 ★クリスマス会 in 浜松のご案内
 ★★12月「アレルギー児の親の交流会」開催のお知らせ
- 8、おすすめ♪講習会・イベント情報のお知らせ
- 9、Gooddo（グッドゥ）でアレルギー支援ネットワークを応援して下さい！！

=====

- 1、ご協力ありがとうございました♪
 ～『東海地域にアレルギーを持つ親子を支えるサロンを』寄付プロジェクトの御礼～

日頃は、アレルギー支援ネットワークの活動に対するご支援ご協力をいただき誠にありがとうございます。

今回、オンライン寄付サイト「Give One」のご協力のもとに『東海地域にアレルギーを持つ親子を支えるサロンを』プロジェクトキャンペーンを10月1日(水)～10月31日(金)の1ヶ月間行ないました結果を報告をさせていただきます。

今回の寄付キャンペーン(オンライン寄付)は、“22名 130,000円”
現金および寄付金口座へのご寄付は、“4名 84,000円”

《合計 26名 214,000円》をお寄せいただきました。
ご寄付いただきました皆様、誠にありがとうございました。

多くの皆さまの温かいご支援を頂き、スタッフ一同心より感謝しております。

寄附金は、下記の支援として大切に使用させていただきます。

- * 5,000円：1回のサロン（交流会広場と「会」）運営のサポーターを派遣
- * 30,000円：1回の食物アレルギー対応の調理実習や、アレルギー勉強会
- * 22,000円：会のリーダー1人に、「アレルギー大学」の基礎初級講座修了(参加費)の補助

今後も、アレルギー疾患があっても安心して子育てをすることができる環境づくりのために継続的なご支援をよろしくお願い致します。

2、食物アレルギーひやりはっと事例集 2014

この度、消費者庁の委託事業として藤田保健衛生大学医学部 客員教授 宇理須厚雄先生らにより、2014年10月に発刊された「食物アレルギーひやりはっと事例集 2014」を、2012年度版に続き、アレルギー検査薬のリーディングカンパニーであるサーモフィッシャーサイエンティフィックグループのファディア株式会社のご協力により増刷し、無償配布いたします。

◆配布冊数：10,000冊

◆配布対象：全国各地の関係機関

（医療機関や自治体、園・学校、子育て・教育関連の施設などアレルギー児に関わる施設をはじめ各地で活動している「アレルギーの会」など）

お申し込みは先着順で、配布冊数に達し次第終了となります。

1 機関・施設につき1冊までです。個人の方は無料のダウンロードをご利用ください。
自治体などで管轄の園・学校などへ配布していただける所からのお申し込みもお受けいたします。発送はお申し込み後2~3週間を予定しております。

ダウンロードはこちら <http://www.alle-net.com/info/info06/info-01-3/>

3、第9期アレルギー大学 全講座終了のお知らせ

5月24日（土）をかわきりに開始した第9期アレルギー大学も11月23日（日）研究実践で、

愛知、岐阜、静岡、三重、千葉、新潟、京都での講座・実習すべてが終了しました。

本年度もたくさんの皆さまが受講をして下さり大変嬉しく思っております。
アレルギー大学で学ばれたことを様々な地域・現場・家庭などで活かして頂ければ幸いです。

本年度上級まで修了された皆さまは、2015年3月7日・8日に行いますアレルギーっ子フェアで修了証授与式を行います。修了生の皆様には2月頃までにはご案内をお送りさせていただきます。ぜひご参加ください。

また、第10期アレルギー大学も開講に向け準備を開始しました。
パンフレットなど準備が整いましたらご案内させていただきます。

4、第8回 千葉アレネット情報

こんにちは。
NPO 法人千葉アレルギーネットワーク 副理事長 桐谷 利恵です。

【アレルギー大学千葉会場終了いたしました】

10/25の講義は食品表示 「加工食品のアレルギー表示と検査技術」神奈川県衛生研究所 理化学部 渡邊 裕子先生でした。

アレルギー表示の制度化についての経緯、消費者庁で検討している表示の一元化の案、検査技術や注意点、問題点など伺いました。わかりやすくお話ししていただきましたが、やっぱり表示は様々な法律も絡んでいるので難しいところだと思います。

11/15は多種アレルゲンに対応した給食ということで、千葉アレルギーネットワークの理事原 正美先生の実習でした。素敵なレシピをたくさん紹介いただき、即実践に使えるものも多かったと思います。

受講生一人一人にお声掛けいただき、場を和ませていただいていたからの実習は皆さん楽しそうでした。

また、ディスカッションではそれぞれの職場の悩みもお話しいただき、様々な立場で話し合いが出来ました。昭和女子大の原ゼミの学生さんも参加いただき、卒業研究の発表もしていただきました。

これで最後と思うと寂しいうれしいお声もいただき、千葉では上級までしか開催しておりませんので、マイスターを目指すなら名古屋の会場へ、また千葉で再受講することもできま

すので、常に最新の情報を得て欲しいと思っております。



自己紹介の様子です♪



作成したメニューはじゃがいものグラタン、白身魚のフライ、ココナッツブラマンジェ、つけ麺です。

画像は米麺のつけ麺でトッピングにかぼちゃとポテトフレークで作った、錦糸卵もどきです。錦糸卵は切れ味スッキリに作成するのは難しいのですが、ポテトフレークを使うことでサクサク切れ味スッキリと切れるものができるそうです。

私は白身魚にかぼちゃを混ぜて卵もどきは作っていたので、薄焼き卵は難しく目からうろこでした。

【12月のノンアレカフェ】

12月9日（火）11時半から14時までです。

メニューはHPをチェックしてください。

<http://www.chiba-allergynet.jp/nonallecaf>

5、アレルギーっ子の防災 第14回 「アレルギー対応の防災訓練-1」

メルマガをお読みの皆さん、こんにちは。防災士の中根輝彦です。
今回も災害復旧支援・防災におけるアレルギー支援の取り組み事例について紹介いたします。

前回は、「クロスロード活用事例」について紹介し、アレルギー啓発支援ツールとしての可能性を考えました。

今回は、「アレルギー対応の防災訓練事例」について紹介します。

食物アレルギー対応の防災訓練といえば、炊き出しが定番と言えるでしょうね。一般用のメニューとは食材や調味料を変えて作る。メニューに含まれる内容を明示して、食物アレルギーの方が食べられるかどうか判断できるように情報提供する。アレルゲンの混入を防ぐため、一般用メニューと別の調理場や調理器具、担当者を明確に分ける。などが考えられます。

これらの炊き出し訓練でも、調理担当者が変わったり、訓練の目的が異なっていたり、参加する方の立場が炊き出しの提供側かいただく側かの違いがあったりすると、同じような訓練であっても、気づきが異なってきます。目的や達成目標をよく考えて訓練すれば、マンネリ防止、バリエーション展開や応用力開発にもつながります。

これまでにかかわった炊き出し訓練の事例をいくつかとりあげ、違いを考えてみたいと思います。

○2010年11月 西尾市総合防災訓練（西野町小校）

アレルギー支援ネットワークの指導により、自主防災組織の担当者が炊き出し調理。屋外のテントブース。調理器具は行政が要した一般用だったため、アレルゲンの成分が残留していないか検査キットを使用して確認。メニューは豚汁。啓発ブースを巡回視察した市長・市役所防災課・新聞記者らにアレルギー支援の必要性をアピール。

○2011年10月 西尾市総合防災訓練（一色町産廃跡地）

アレルギー支援ネットワーク、西尾市の会「アレっ子元気」が啓発、自衛隊がアレルギー対応炊き出し調理。屋外のテントブース。器具は自衛隊の炊飯車、ガムテープで「ダシなし」と明示。

○2012年11月 西尾市総合防災訓練（吉良白浜小学校）

「アレっ子元気」が炊き出し調理、啓発。屋外テントブースで調理予定だったが前夜の雨で体育館に変更。電磁調理器具。メニューは豚汁。

○2014年11月 日進市地域合同総合防災訓練（北小学校）

日進市の会「ぷちヴェール日進」が炊き出し調理、啓発。屋外テントブースで調理。途中まで自主防災会が一般用として一緒にハソリで作り、アレルゲンとなりそうな材料を投入する前に小鍋に分けて取り、アレルギー対応の調味料で味付けするため卓上カセットコンロに移して仕上げ。メニューは豚汁。自主防災組織との調整により、分業が可能となった。

4つの事例を紹介しました。いろいろな調整の結果だと思いますが、少しずつ実施方法が異なっています。どれが良いということではなく、状況に応じて工夫し、臨機応変に対応した結果だと思えます。いろいろな方法に挑戦することで応用力が養われます。

また、比較してみると訓練の効果も異なることがわかります。これらを次の訓練の目的や達成目標の参考としていただけるとありがたいです。

○誰が調理するか

アレルギー関係者：発災時に自分たちがアレルギー対応の炊き出しをするための訓練。

自主防災組織：一般の方にアレルギー対応の必要性や具体的な方法を知ってもらう啓発指導。

自衛隊：自衛隊への依頼や対応可否の確認、全国の自衛隊組織への展開や中央官庁への波及の期待。

○どこで調理するか

屋外テントブース：野営・イベント型。大規模大量の炊き出し、ハソリなど高火力の調理器具が可能。

体育館：避難所型。電磁調理器具、卓上カセットコンロなど小規模な炊き出し、火気取扱いに配慮が必要、少量でよい場合、全天候対応可。

○調理工程

完全分離：混入防止を意識して、調理場・器具・担当者をすべて分ける。

途中分離：調理の効率を意識して、問題ない範囲で同一工程で実施する。

○メニュー

豚汁ばかりでよいか、他のメニューの試行。除去する原材料は27品目のどれか。

今回は、「アレルギー対応の防災訓練－1」として、炊き出しを提供する側の訓練について紹介しました。

次回は、「アレルギー対応の防災訓練－2」として、炊き出しをいただく側の訓練について紹介します。

防災士 中根輝彦

日々つぶやいています。

@TeruhikoNakane

内容は筆者個人の考え方に基づくものです。アレルギー支援ネットワークを代表するもの、方針を反映したものではありません。

ご意見ご感想をいただけると嬉しいです。次の原稿を書く励みになります。アレルギー支援ネットワークの事務局まで、お寄せ下さい。

宛先：info@alle-net.com

6、ぷちヴェール日進☆「地域合同総合防災訓練」に参加しました！

今年初めて、私達は、市（日進市）が開催する「地域合同総合防災訓練」に、アレルギーの会として参加しました。

今年の開催会場は、10/19に梨の木小学校、11/2に北小学校で、それぞれに参加し、アレルギー対応の炊き出しと啓発コーナーのブースを出しました。

当初は、2カ所で行われる訓練の両方に参加するかどうか迷いましたが、結果、立て続けに2回に渡って参加することで、学ぶことがたくさん生まれ、よりたくさんの方に直接メッセージを届ける事ができ、参加メンバー一同、やって良かったと感じています。

振り返ってみれば、会として初の試みであるだけでなく、これまで自分達の誰にも経験のないことでしたので、分からない事、判断に迷うことの連続でした。

1番、判断に悩んだ点は、メインのアレルギー対応の炊き出しの内容や調理の仕方でした。実際に被災した時には、“各家庭に残っている食材を持ち寄っての炊き出しになる事”を前提とした上で、一般の方に“間違いなく実施して頂ける内容にする事”を基準に、検討を重ねました。

最終的に、みんなが食べる炊き出し（日進市の炊き出しメニューは豚汁）の材料から、27品目に該当するアレルゲンを含む原材料を除いて、別鍋で調理し、同じ材料からアレルギー対応の一品ができる事を伝える事にしました。

「途中で取り分ける」という方法と、「煮込む前から別鍋に分ける」という方法を検討しましたが、一般の家庭ではアレルゲンとなる添加物が含まれるだしの素やみそが使われているケースが少なくない事から、「入れちゃった！」という間違いがない後者を選択して、地域の炊き出し関係者に伝え、当日もそのように実施しました。（尚、この「別鍋」の発想は、日進市では卓上型ガスカセットコンロを多数防災炊き出し用に備蓄している状況に合わせたところでもあります。）

もう1つ、難しかった点は、訓練参加の説明や準備にあたる中での、地域の方との関係づくりでした。市の防災訓練ではありますが、実際に現場で実施するのは地域の自主防災会や校区内の市民の皆さん自身です。

また、同じ日進市主催の防災訓練で、内容もほぼ同じですが、各校区の地域性を配慮して、市の支援の仕方は全く違い、段取りも異なりました。

片方は、新しいマンションが立ち並ぶ校区で、炊き出しを自主防災会が担当する以外は、家庭推進委員会や小学校PTAなど、児童の保護者たちが何十人も集まって、訓練の企画や運営に臨む形、もう一方は古くからの住宅街で、地域の自主防災会や自治会の役員、学校の教職員を主とした年配の方々ばかりのメンバーで構成され、市がリードする形で進められました。(市の担当者によれば、本来自動的に地域で防災活動が行われるのが望ましい形なので、「自分たちでやる」という地域はできるだけ任せるようにしているのだそうです)

会のメンバーは、就学前の乳幼児を抱える家庭が多く、昔のように親世代と住んでいることもないので、地域とのつながりは薄く、知り合いのない防災会議の場で、突然「アレルギー対応の炊き出しをしたい」と、理解を求める説明をするのは困難なものでしたし、実際の準備は、同じ備品ひとつ借りるにあたって、相談やお願い先が違ったので、どこにお願いしたら良いのか右往左往する始末でした。

今回、同じ市の中でも、地域性に大きな違いがあることを体感し、アレルギーに関する理解を求めていく上でも、地域性を考慮した進め方が重要となることを学んだ次第です。

それでも、最後は、地域の方々にたくさん助けて頂きながら実施に至り、来場した訓練参加者の多くの方々に声をかけ、「アレルギー」という言葉を直に耳に届け、考えて頂く機会となった事は、私達にとって、今後の大きな大きな励みになりました。

被災した時に、当たり前「アレルギー対応」を念頭において頂けるようになるには、まだまだ課題は多く、繰り返し伝えていく必要がありますが、初の試みが、快い一歩となり、一同ひとまずほっとしている次第です。

ぷちヴェール日進 大平亜依

7、アレルギーが心配な保護者の方へ

★クリスマス会 in 浜松のご案内

浜松でクリスマス会が開催されます。

日時：12月23日（火）18：30～

場所：ホテルコンコルド浜松

内容：アレルギー対応のコース料理を予定。

（卵・乳・小麦・エビ・カニ・そば・ナッツ・大豆・ゴマ除去）

詳細はアレルギー支援ネットワークHPの勉強会・イベント開催案内をご確認ください。

7、アレルギーが心配な保護者の方へ

★★12月「アレルギー児の親の交流会」開催のお知らせ

食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、ぜん息など、アレルギーのお子さんの事、アレルギーかな？と、お悩みのある方、スキンケアや食事の事、園や学校についてなど、私たちと一緒にお話をしませんか？どこの交流会へも参加可能です。

交流会を実施している区外、或いは近郊の市町にお住まいの方の参加やお問合わせも多く、ご要望の多いところから順に交流会の開催準備をすすめています。

会に参加ご希望の方は、アレルギー支援ネットワーク事務局までお気軽にお問い合わせください。皆さまのご参加をお待ちしております。

【対象】0歳～中学生位までのアレルギー児の保護者

【参加費用】各交流会に確認して下さい。

【各地の患者会】

<http://www.all-net.com/network/network04/network04-03/>

【アレルギー支援ネットワーク事務局】

電話：052-485-5208

URL：<http://www.all-net.com/>

8、おすすめ♪勉強会・イベント情報のお知らせ

アレルギーに関する勉強会・イベント情報などをホームページにて掲載しております。皆さまの情報交換の場として、是非ご利用ください。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.all-net.com/info/info07/info07-08/>

9、Gooddo（グッドゥ）でアレルギー支援ネットワークを応援して下さい！！

アレルギー支援ネットワークは、ソーシャルグッドプラットフォーム gooddo（グッドゥ）に参加しております。

<http://gooddo.jp/gd/group/alliesien/?md=fb>

上記のリンクから gooddo のアレルギー支援ネットワークのページに行き、毎日ぜひ『応援する！』をクリックして下さい。（クリックにお金はかかりません）

クリックによって 20～1000 ポイントがアレルギー支援ネットワークの支援のために加算され、ポイントに応じて応援企業から支援金が「アレルギー支援ネットワーク」に届けられます。

他にも gooddo 内ではいいね！やお買い物でもご支援頂く事ができます。
ぜひ「応援する！」「いいね！」でご支援、ご協力をお願いいたします！

<http://gooddo.jp/gd/group/alliesien/?md=fb>

▼gooddo（グッドゥ）とは？

自分の応援したい社会貢献団体を、誰でも、今すぐ、簡単に応援することができるソーシャルグッドプラットフォームです。

ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。

お問い合わせ：info@alle-net.com

=====

★メールアドレスの変更や、このメールマガジンに関するお問合せは
asn-mailmagazine@alle-net.com（メルマガ編集部）までお願いします。

また、今後、アレルギー支援ネットワークのメールマガジンを希望されない方は、お手数ですが、件名に「配信停止希望」と書いてメールをお送りください。（メールマガジン配信準備の都合上、配信停止手続きと行き違いでお届けする場合がございますが、ご了承ください。）

★メルマガの転載について

無断転載・転送を禁じます。アレルギーの会などが活動で使用する場合は、メルマガ編集部
asn-mailmagazine@alle-net.com までお尋ねください。

なおメールマガジンのメールアドレスには、返信はできません。ご注意ください。

☆☆☆みなさまからのご質問を募集中！アレルギーや支援ネットワークに関することなんでも OK です。ぜひお気軽にどうぞ☆☆☆

★みなさまからのご要望、お便り、アレルギーについての疑問などお寄せください。

発行/編集 認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワーク

◇事務局◇

453-0042 名古屋市中村区大秋町 2-45-6

▽TEL : 052-485-5208 ▽E-mail : info@alle-net.com

☆◆-----